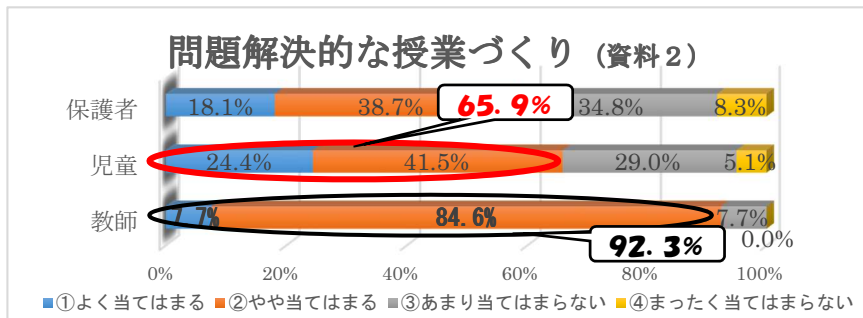
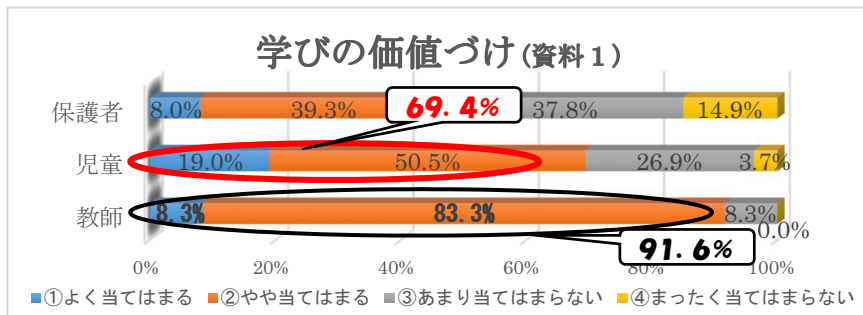


① 1学期末のアンケートから見る一南小 (1学期 アンケート結果より)



項目「かんがえる」の「**学びの価値づけ**」(資料1)では、「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した教員は91.6%、「**問題解決的な授業づくり**」(資料2)も92.3%と、積極的に子どもの主体性を伸ばそうと取り組んでいる結果となっている。一方で、「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した児童は、それぞれ69.5%、65.9%となっている。目標を決めその結果を生かしたり進んで問題解決に取り組んだりできていると感じている児童

が少ない実態が見えてくる。また、子どもの姿からは成果が分かりにくいいためか、保護者の評価も低くなっている。児童や保護者に対し、「かんがえる」力を育むために学校が取り組んでいることを明確に伝えるとともに、取り組みへの評価、改善を図っていく必要がある。